



## 山村振興のキーポイント

### 積極的・魅力的な情報発信と地域住民主体の運営

#### 【森林の里応援団から学ぶ】

#### 体験学習プランの設定 オプション設定による 多様な選択肢

「森林の里応援団」が用意している観光メニューは宿泊料金と体験学習ツアーの参加料金が別設定になっている。これによって、宿泊のみの希望者や、宿泊は別だが体験学習はしてみたいという訪問客それぞれに臨機応変に対応できる。

#### 体験メニュー

#### 資源を見極め 使えるものは積極的に使う

恵みの森におけるブナ林、布沢川、地場の食材、田んぼや畑、布沢分校など、山奥の集落にも多くの資源が潜在している。これらを掘り出し、どのように活用すれば望ましいかを地域で考え、魅力的な体験・学習プログラムを組み立てている。

#### 主体性

#### 地域住民が主体となって取り組む

施設整備など投資に大きな負担がかかることは、できる限り行政が補填し、その後の管理運営については地域の事情を最も把握している地域住民等の地元関係者が主体的に実施することで、より良いサービスが提供でき、住民の誇りややりがいを醸成することができる。

#### 施設整備

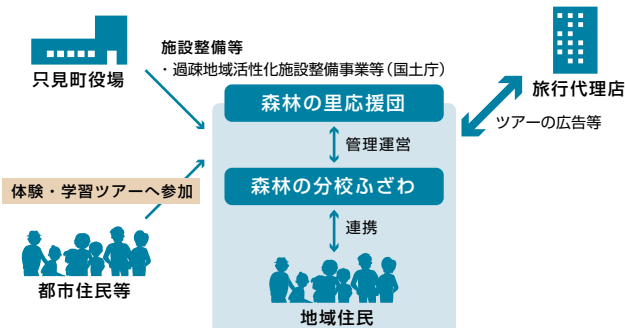
#### 体験学習ならではの施設整備

山村地域の体験学習ツアーにおいては宿泊施設としてふさわしい建物にすることが重要である。いろりや畳など、伝統文化を表現する建物を整備することで、利用者の満足度も上がる。



## 活用した組織と制度

### ソフトは地域、ハードは行政の連携による「森林の分校ふざわ」の運営



# 資源の活用方法と人材の確保が大切



森林の里応援団 今井 博 氏

布沢と坂田、この2つの集落は奥会津・只見町の南東に位置し、伊南川の支流、布沢川が家々を縫うように創り出した森林の里です。かつて吉尾峠を越えて会津若松へ抜ける主要な街道でしたが、現在はブナの森林に埋まり、静かに息づく山里です。そうした山里に「森林の分校ふざわ」はあるわけですが、私たちが「森林の里応援団」を結成して最初に取り組む必要があったのは、住民による運営の為のルールづくりです。各人の役割と賃金の分配方法の確立は重要な要素です。次に、体験学習ツアーを考えるにあたっては、地域にある資源をみんなで洗い出す作業をしました。ワークショップ形式で話し合いを行い、集落周辺をくまなくチェックして、活用できそうな資源を並べ、各資源についてよりよい活用方法を話し合いながら決めていきました。良い企画をしても、多くの

人に伝わらなければ元の本阿弥ですから、こちらに関しては町の協力と「観光まちづくり協会」を活用して積極的に発信しました。

運営を開始してから日は浅いですが、おかげさまで運営自体はうまく回っています。今後も継続的にこの状態を維持していくことが重要と考えていますが、そのためには今後“若い人材の確保”と施設が陳腐化しないよう、魅力的な施設として維持管理することの重要性を感じます。



## 今後の課題・展望

### 若い人材の確保とUターン受入れの促進

#### 目標1

#### 若い人材の確保

布沢は山奥の集落で高齢化が進んでいる。そのため、今後「森林の里応援団」を始め地域の活力を再構築していくため、若い人材を確保することが望ましい。

#### 目標2

#### 雇用の促進

地域の若者が流出する最も大きな要因は、地域に雇用が少ないことである。そのため、本取組に携わる人が業として運営できることが重要である。

#### 目標3

#### 広域的な連携の構築

この森林の分校を拠点とした、様々な体験学習ツアーは現在、布沢地区周辺のみでの活動である。今後は近隣の地区と連携した広域的なツアーの推進によって、より多くの集客を図りたい。

#### 関連・関係する団体

只見町役場 〒968-0498 福島県南会津郡只見町大字只見字雨堤1039 Tel : 0241-82-5210